

カリキュラム・マップ(豊橋校舎 共通教育科目)

2014. 4. 2 豊橋教務課

学習・教育目標	①大学における学習・研究に必要な基礎的知識や技能を身に付けることができる。 ②論理的な思考方法を身に付けることができる。 ③総合的な判断力を身に付けることができる。 ④グローバル化する社会に求められる実践的な外国語運用能力を身に付けることができる。 ⑤ I T時代に必要の情報処理能力を身に付けることができる。 ⑥生活習慣の改善と身体運動実践能力の習得により、心身ともに良好な健康状態と体力水準を保つことができる。
---------	--

科目コード	科目名	科目区分	配当年次	授業の到達目標	学習・教育目標との関連 ◎=強く関連、○=関連、△=やや関連)					
					①	②	③	④	⑤	⑥
TWA01	Reading	必修	1年	外国語分野(英語)における国際化・情報化時代に対応できる実践的な実用英語を身につける、文法の基礎固めを行い、その知識を活用しながら講読する英文の内容をより正確に把握する能力を身につける	○	○		◎		
TWA02	TOEIC	必修	1年	外国語分野(英語)における国際化・情報化時代に対応できる実践的な実用英語を身につける、TOEICの出題形式に慣れ、語彙や慣用表現を学び、ListeningおよびReadingセクションではすばやく必要な情報を把握する能力を身につける	○	○		◎		
TWA03	Communicative English I	必修	1年	外国語分野(英語)において国際化・情報化時代に対応できる実践的な実用英語を身につける、発信的言語能力(話す書く技能)を中心に基礎的語学能力を身につける	○	○		◎		
TWA04	Communicative English II	必修	1年	外国語分野(英語)において国際化・情報化時代に対応できる実践的な実用英語を身につける。発信的言語能力(話す書く技能)を中心に基礎的語学能力を身につける	○	○		◎		
TWA05	Practical English I	必修	2年	外国語分野(英語)における国際化・情報化時代に対応できる実践的な実用英語を身につける、聞いたり書いたり発表したりなど多様な言語活動から基礎的語学能力を身につける	○	○		◎		
TWA06	Practical English II	必修	2年	外国語分野(英語)における国際化・情報化時代に対応できる実践的な実用英語を身につける、聞いたり書いたり発表したりなど多様な言語活動から基礎的語学能力を身につける	○	○		◎		
TWA07	Advanced Reading I	必修	2年	外国語分野(英語)における国際化・情報化時代に対応できる総合的語学能力を身につける	○	○		◎		
TWA08	Advanced Reading II	必修	2年	外国語分野(英語)における国際化・情報化時代に対応できる総合的語学能力を身につける	○	○		◎		
TWA09	Current English I	選択	2年	外国語分野(英語)における時事英語を通じ、基礎的語学能力を身につける	○	○		◎		
TWA10	Current English II	選択	2年	外国語分野(英語)における時事英語を通じ、基礎的語学能力を身につける	○	○		◎		
TWA11	Communication Skills I	選択	1年	外国語分野(英語)における多様な言語活動を通じて英語の運用能力を身につける	○	○		◎		
TWA12	Communication Skills II	選択	1年	外国語分野(英語)における多様な言語活動を通じて英語の運用能力を身につける	○	○		◎		
TWA13	Communication Skills III	選択	1年	外国語分野(英語)における多様な言語活動を通じて英語の運用能力を身につける	○	○		◎		
TWA14	Communication Skills IV	選択	1年	外国語分野(英語)における多様な言語活動を通じて英語の運用能力を身につける	○	○		◎		
TWB01	入門中国語 I	必修	1年	外国語分野(中国語)における正しい発音を目標とし、ピンインで書かれた音節表をすべて正しく読めること、文法では、簡単なあいさつ表現を中心に学びながら、同時に動詞、形容詞文等基礎的な文法を学び基礎的語学能力を身につける	○	○		◎		
TWB02	入門中国語 II	必修	1年	外国語分野(中国語)における正しい発音を目標とし、ピンインで書かれた音節表をすべて正しく読めること、文法では、簡単なあいさつ表現を中心に学びながら、同時に動詞、形容詞文等基礎的な文法を学び基礎的語学能力を身につける	○	○		◎		
TWB03	基礎中国語 I	必修	1年	外国語分野(中国語)における正しい発音を目標とし、ピンインで書かれた音節表をすべて正しく読めること、文法では、簡単なあいさつ表現を中心に学びながら、同時に動詞、形容詞文等基礎的な文法を学び基礎的語学能力を身につける	○	○		◎		
TWB04	基礎中国語 II	必修	1年	外国語分野(中国語)における正しい発音を目標とし、ピンインで書かれた音節表をすべて正しく読めること、文法では、簡単なあいさつ表現を中心に学びながら、同時に動詞、形容詞文等基礎的な文法を学び基礎的語学能力を身につける	○	○		◎		
TWB05	応用中国語 I	必修	2年	外国語分野(中国語)における入門・基礎で身につけた文法事項、単語を踏まえながら、発音の基礎をより強固なものにする、実際に中国語を使い、いくつかの場面を通して、習ったことを口頭でも言えるように練習し、実際に使えるレベルまでの基礎的語学能力を身につける	○	○		◎		
TWB06	応用中国語 II	必修	2年	外国語分野(中国語)における入門・基礎で身につけた文法事項、単語を踏まえながら、発音の基礎をより強固なものにする、実際に中国語を使い、いくつかの場面を通して、習ったことを口頭でも言えるように練習し、実際に使えるレベルまでの基礎的語学能力を身につける	○	○		◎		
TWB07	総合中国語 I	必修	2年	外国語分野(中国語)における講読を中心に、中国の社会と文化がわかるような読み物を用いて辞書を引きながら中国語で書かれた文章を読めるよう訓練をし基礎的語学能力を身につける	○	○		◎		
TWB08	総合中国語 II	必修	2年	外国語分野(中国語)における講読を中心に、中国の社会と文化がわかるような読み物を用いて辞書を引きながら中国語で書かれた文章を読めるよう訓練をし基礎的語学能力を身につける	○	○		◎		

カリキュラム・マップ(豊橋校舎 共通教育科目)

科目コード	科目名	科目区分	配当年次	授業の到達目標	学習・教育目標との関連 ◎=強く関連、○=関連、△=やや関連)					
					①	②	③	④	⑤	⑥
TWB09	中国語会話(初級)Ⅰ	選 択	1 年	外国語分野(中国語)における発音の矯正、強化につねに注意を払うとともに、語彙力を増やし、慣用句、成語等にも親しみ基礎的語学能力を身につける	○	○		◎		
TWB10	中国語会話(初級)Ⅱ	選 択	1 年	外国語分野(中国語)における発音の矯正、強化につねに注意を払うとともに、語彙力を増やし、慣用句、成語等にも親しみ基礎的語学能力を身につける	○	○		◎		
TWB11	中国語会話(中級)Ⅰ	選 択	2 年	外国語分野(中国語)における表現できることを目指すとともに、常用語句を自由に使えるよう文作りの練習をし、簡単な自由作文も書けることを目指す、発音の矯正、強化につねに注意を払うとともに、語彙力を増やし、慣用句、成語等にも親しみながら基礎的語学能力を身につける	○	○		◎		
TWB12	中国語会話(中級)Ⅱ	選 択	2 年	外国語分野(中国語)における表現できることを目指すとともに、常用語句を自由に使えるよう文作りの練習をし、簡単な自由作文も書けることを目指す、発音の矯正、強化につねに注意を払うとともに、語彙力を増やし、慣用句、成語等にも親しみながら基礎的語学能力を身につける	○	○		◎		
TWB13	コミュニケーション中国語ⅠA	選 択	3 年	外国語分野(中国語)における質問をしたり、自分の意見を言えるようなコミュニケーション能力の養成を目標とし基礎的語学能力を身につける	○	○		◎		
TWB14	コミュニケーション中国語ⅠB	選 択	3 年	外国語分野(中国語)における質問をしたり、自分の意見を言えるようなコミュニケーション能力の養成を目標とし基礎的語学能力を身につける	○	○		◎		
TWB15	コミュニケーション中国語ⅡA	選 択	3 年	外国語分野(中国語)における文章を細かく読むこと、中国語で書かれた文章を独力で正確に読めるようになるための訓練を行いながら基礎的語学能力を身につける	○	○		◎		
TWB16	コミュニケーション中国語ⅡB	選 択	3 年	外国語分野(中国語)における文章を細かく読むこと、中国語で書かれた文章を独力で正確に読めるようになるための訓練を行いながら基礎的語学能力を身につける	○	○		◎		
TWC01	入門フランス語Ⅰ	必 修	1 年	外国語分野(フランス語)における表現の最初歩(自己紹介、あいさつ、自分や家族について簡単に表現すること)を身につける	○	○		◎		
TWC02	入門フランス語Ⅱ	必 修	1 年	外国語分野(フランス語)における表現の初歩(自分について、また自分の経験や予定について語るようにすることができるようにすること)を身につける	○	○		◎		
TWC03	基礎フランス語Ⅰ	必 修	1 年	外国語分野(フランス語)における文字と発音について学び、文法の基礎(「現在」の事象について理解、表現すること)を身につける	○	○		◎		
TWC04	基礎フランス語Ⅱ	必 修	1 年	外国語分野(フランス語)における文法の基礎(「現在」のみではなく「過去」、「未来」の事象についても理解、表現できること)を身につける	○	○		◎		
TWC05	応用フランス語Ⅰ	必 修	2 年	外国語分野(フランス語)における初級文法をさらに推し進め、簡易な文章が読める程度の語学力獲得を目指す	○	○		◎		
TWC06	応用フランス語Ⅱ	必 修	2 年	外国語分野(フランス語)における初級文法の確認と復習をし、辞書を用いて文章が読めるレベルまでの読解能力を身につける	○	○		◎		
TWC07	総合フランス語Ⅰ	必 修	2 年	外国語分野(フランス語)における「読む」「書く」「聴く」「話す」という4技能を向上させ、コミュニケーションの基礎を習得する	○	○		◎		
TWC08	総合フランス語Ⅱ	必 修	2 年	外国語分野(フランス語)における「読む」「書く」「聴く」「話す」という4技能を向上させ、コミュニケーションの基礎を習得する	○	○		◎		
TWC09	フランス語会話(初級)Ⅰ	選 択	1 年	外国語分野(フランス語)における会話の最初歩(最も簡単な言葉でフランス語圏の人と交流できる)を身につける	○	○		◎		
TWC10	フランス語会話(初級)Ⅱ	選 択	1 年	外国語分野(フランス語)における会話の最初歩(最も簡単な言葉でフランス語圏の人と交流できる)を身につける	○	○		◎		
TWC11	フランス語会話(中級)Ⅰ	選 択	2 年	外国語分野(フランス語)における会話の初歩(簡単な言葉でフランス語圏の人と交流できる)を身につける	○	○		◎		
TWC12	フランス語会話(中級)Ⅱ	選 択	2 年	外国語分野(フランス語)における会話の初歩(簡単な言葉でフランス語圏の人と交流できる)を身につける	○	○		◎		
TWC13	コミュニケーションフランス語ⅠA	選 択	3 年	フランス語における基本的なコミュニケーション能力(自分の身の回りの事柄について表現することができる)を身につける	○	○		◎		
TWC14	コミュニケーションフランス語ⅠB	選 択	3 年	フランス語における基本的なコミュニケーション能力(自分の身の回りの事柄について表現することができる)を身につける	○	○		◎		
TWC15	コミュニケーションフランス語ⅡA	選 択	3 年	フランス語における基本的なコミュニケーション能力(自分の身の回りの事柄について表現することができる)を身につける	○	○		◎		
TWC16	コミュニケーションフランス語ⅡB	選 択	3 年	フランス語における基本的なコミュニケーション能力(自分の身の回りの事柄について表現することができる)を身につける	○	○		◎		
TWD01	入門ドイツ語Ⅰ	必 修	1 年	外国語分野(ドイツ語)における文字と発音について学び、視覚機器を利用しながらリスニングおよび発音練習などを繰り返す、基本語彙についても学びながら基礎的語学能力を身につける	○	○		◎		
TWD02	入門ドイツ語Ⅱ	必 修	1 年	外国語分野(ドイツ語)における文字と発音練習を基礎として、いろいろな状況や場面における簡単な会話方法を通じ基礎的語学能力を身につける	○	○		◎		
TWD03	基礎ドイツ語Ⅰ	必 修	1 年	外国語分野(ドイツ語)における初級文法の知識を習得し、それを基礎にやさしいドイツ語を話し、読む力を養いながら基礎的語学能力を身につける	○	○		◎		
TWD04	基礎ドイツ語Ⅱ	必 修	1 年	外国語分野(ドイツ語)における初級文法の知識を習得し、それを基礎にやさしいドイツ語を話し、読む力を養いながら基礎的語学能力を身につける	○	○		◎		
TWD05	応用ドイツ語Ⅰ	必 修	2 年	外国語分野(ドイツ語)における入門・基礎ドイツ語で得た知識を確かなものにする、それを一段階ステップアップさせ初級文法を復習し、さまざまなドイツ語テキストをCDを用いて聞きつつ精読することで基礎的語学能力を身につける	○	○		◎		
TWD06	応用ドイツ語Ⅱ	必 修	2 年	外国語分野(ドイツ語)における入門・基礎ドイツ語で得た知識を確かなものにする、それを一段階ステップアップさせ初級文法を復習し、さまざまなドイツ語テキストをCDを用いて聞きつつ精読することで基礎的語学能力を身につける	○	○		◎		

カリキュラム・マップ(豊橋校舎 共通教育科目)

科目コード	科目名	科目区分	配当年次	授業の到達目標	学習・教育目標との関連 ◎=強く関連、○=関連、△=やや関連)					
					①	②	③	④	⑤	⑥
TWD07	総合ドイツ語Ⅰ	必修	2年	外国語分野(ドイツ語)における聞き取り能力の向上と日常的な会話の運用能力、異文化体験を通してドイツの文化の理解を深めながら基礎的語学能力を身につける	○	○		◎		
TWD08	総合ドイツ語Ⅱ	必修	2年	外国語分野(ドイツ語)における聞き取り能力の向上と日常的な会話の運用能力、異文化体験を通してドイツの文化の理解を深めながら基礎的語学能力を身につける	○	○		◎		
TWD09	ドイツ語会話(初級)Ⅰ	選択	1年	外国語分野(ドイツ語)における日常会話の運用能力、異文化への理解を深めるながら基礎的語学能力を身につける	○	○		◎		
TWD10	ドイツ語会話(初級)Ⅱ	選択	1年	外国語分野(ドイツ語)における日常会話の運用能力、異文化への理解を深めるながら基礎的語学能力を身につける	○	○		◎		
TWD11	ドイツ語会話(中級)Ⅰ	選択	3年	外国語分野(ドイツ語)における日常会話程度の基礎的なコミュニケーション能力を深めるとともに、受講者の自律、自習を促進することで基礎的語学能力を身につける	○	○		◎		
TWD12	ドイツ語会話(中級)Ⅱ	選択	3年	外国語分野(ドイツ語)における日常会話程度の基礎的なコミュニケーション能力を深めるとともに、受講者の自律、自習を促進することで基礎的語学能力を身につける	○	○		◎		
TWE01	入門ロシア語Ⅰ	選択	1年	外国語分野(ロシア語)における簡単な日常会話ができるようになること、文化について触れながら基礎的語学能力を身につける	○	○		◎		
TWE02	入門ロシア語Ⅱ	選択	1年	外国語分野(ロシア語)における簡単な日常会話ができるようになること、文化について触れながら基礎的語学能力を身につける	○	○		◎		
TWE03	基礎ロシア語Ⅰ	選択	1年	外国語分野(ロシア語)におけるキリル文字を覚え、発音できるようになることと、ロシア語の名詞に関する基本的文法事項と動詞の基本活用を習得しながら基礎的語学能力を身につける	○	○		◎		
TWE04	基礎ロシア語Ⅱ	選択	1年	外国語分野(ロシア語)におけるキリル文字を覚え、発音できるようになることと、ロシア語の名詞に関する基本的文法事項と動詞の基本活用を習得しながら基礎的語学能力を身につける	○	○		◎		
TWE05	応用ロシア語Ⅰ	選択	2年	外国語分野(ロシア語)における辞書と活用表を使用しながら、簡単なテキストが読めるようになることを目指し、同時に、ロシア文化に触れながら基礎的語学能力を身につける	○	○		◎		
TWE06	応用ロシア語Ⅱ	選択	2年	外国語分野(ロシア語)における辞書の使い方に慣れ、ロシア語の初級および中級レベルのテキストを読みこなす読解力を養成しながら基礎的語学能力を身につける	○	○		◎		
TWE07	総合ロシア語Ⅰ	選択	2年	外国語分野(ロシア語)における入門ロシア語、基礎ロシア語で学んできた文法知識を再確認しながら、ロシア語の運用能力を高めていく、特に「聞く活動」と「話す活動」を中心に基礎的語学能力を身につける	○	○		◎		
TWE08	総合ロシア語Ⅱ	選択	2年	外国語分野(ロシア語)における入門ロシア語、基礎ロシア語で学んできた文法知識を再確認しながら、ロシア語の運用能力を高めていく、特に「聞く活動」と「話す活動」を中心に基礎的語学能力を身につける	○	○		◎		
TWF01	入門韓国・朝鮮語Ⅰ	選択	1年	外国語分野(韓国・朝鮮語)におけるハングル文字を学び、同時に視聴覚機器を利用しながらその発音の練習を繰り返し基礎的語学能力を身につける	○	○		◎		
TWF02	入門韓国・朝鮮語Ⅱ	選択	1年	外国語分野(韓国・朝鮮語)におけるハングル文字を学び、同時に視聴覚機器を利用しながらその発音の練習を繰り返し基礎的語学能力を身につける	○	○		◎		
TWF03	基礎韓国・朝鮮語Ⅰ	選択	1年	外国語分野(韓国・朝鮮語)における初歩的な文法事項を学び、各種練習問題をこなすと同時に基本語彙を習得し、基礎的語学能力を身につける	○	○		◎		
TWF04	基礎韓国・朝鮮語Ⅱ	選択	1年	外国語分野(韓国・朝鮮語)における初歩的な文法事項を学び、各種練習問題をこなすと同時に基本語彙を習得し、基礎的語学能力を身につける	○	○		◎		
TWF05	応用韓国・朝鮮語Ⅰ	選択	2年	外国語分野(韓国・朝鮮語)における入門・基礎で習得した語学能力を向上させる	○	○		◎		
TWF06	応用韓国・朝鮮語Ⅱ	選択	2年	外国語分野(韓国・朝鮮語)における入門・基礎で習得した語学能力を向上させる	○	○		◎		
TWF07	総合韓国・朝鮮語Ⅰ	選択	2年	外国語分野(韓国・朝鮮語)における入門・基礎で習得した語学能力を向上させる	○	○		◎		
TWF08	総合韓国・朝鮮語Ⅱ	選択	2年	外国語分野(韓国・朝鮮語)における入門・基礎で習得した語学能力を向上させる	○	○		◎		
TWG01	入門ポルトガル語Ⅰ	選択	1年	外国語分野(ポルトガル語)における文字、アルファベット、発音及びアクセントからはじまり、数詞、時間、日付、指示詞、所有代名詞、単数形・複数形、形容詞、前置詞、疑問詞、動詞の活用法等、一つのフレーズを作成する為のパーツを一つずつ学びながら基礎的語学能力を身につける	○	○		◎		
TWG02	入門ポルトガル語Ⅱ	選択	1年	外国語分野(ポルトガル語)における表現幅及びニュアンスに対する理解を広げ、あらゆるもの一時的な状態、精神的及び身体的状態、人物、生物、物質の所在地、進行形、天気、場所を示す副詞等を学ぶ、一つの不規則動詞による幾つかの異なるニュアンス及び意味合い(用法、活用幅)を学びながら基礎的語学能力を身につける	○	○		◎		
TWG03	基礎ポルトガル語Ⅰ	選択	1年	外国語分野(ポルトガル語)における文書構造の基礎レベルとなるフレーズの各パーツを学ぶ、目的格人称代名詞、比較級、各種の副詞等、動詞の過去形や未来形等を学びながら基礎的語学能力を身につける	○	○		◎		
TWG04	基礎ポルトガル語Ⅱ	選択	1年	外国語分野(ポルトガル語)における文書構造の基礎レベルとなるフレーズの各パーツを学ぶ、目的格人称代名詞、比較級、各種の副詞等、動詞の過去形や未来形等を学びながら基礎的語学能力を身につける	○	○		◎		

カリキュラム・マップ(豊橋校舎 共通教育科目)

科目コード	科目名	科目区分	配当年次	授業の到達目標	学習・教育目標との関連 ◎=強く関連、○=関連、△=やや関連)					
					①	②	③	④	⑤	⑥
TWH01	日本語・表現Ⅰ	必修	1年	外国語分野(日本語)における読み・書きの能力だけでなく、異文化接触体験を通して自己を確立する能力を培っていくことも狙い基礎的語学能力を身につける	○	○		◎		
TWH02	日本語・表現Ⅱ	必修	1年	外国語分野(日本語)における基礎文型とその応用文型を体系的に学習する一方で、レポートや論文作成に対応できるように、日本語の書く力を重点的に身につける	○	○		◎		
TWH03	日本語・論文技術(基礎)Ⅰ	必修	1年	外国語分野(日本語)における高度な情報や知識を得ることができるよう、論理的思考に基づいたアカデミック・リテラシーの獲得を目指す。論理的な文章を大量に徹底的に読みこなしながら基礎的語学能力を身につける	○	○		◎		
TWH04	日本語・論文技術(基礎)Ⅱ	必修	1年	外国語分野(日本語)における高度な情報や知識を得ることができるよう、論理的思考に基づいたアカデミック・リテラシーの獲得を目指す。論理的な文章を大量に徹底的に読みこなしながら基礎的語学能力を身につける	○	○		◎		
TWH05	日本語・総合Ⅰ	必修	2年	外国語分野(日本語)におけるアカデミックなレベルでの論理的表現の習得を体系的に目指す、日々の生活において、自己の置かれている状況を説明し、自らの手で問題解決にあたることのできる社会的総合的な日本語能力を身につける	○	○		◎		
TWH06	日本語・総合Ⅱ	必修	2年	外国語分野(日本語)における論理的表現の習得並びに発表能力を高めることをめざす、日々の生活において、自己の置かれている状況を説明し、自らの手で問題解決にあたることのできる社会的総合的な日本語能力を身につける	○	○		◎		
TWH07	日本語・論文技術(応用)Ⅰ	必修	2年	外国語分野(日本語)における論理的な文章のリーディング・リテラシーをさらに磨いていく、書くためのスキルの向上も徹底する、特に「文体」「文作法の技法」「文構成」の分野で「基礎」で習得したことが定着する能力を身につける	○	○		◎		
TWH08	日本語・論文技術(応用)Ⅱ	必修	2年	外国語分野(日本語)における論理的な文章のリーディング・リテラシーをさらに磨いていく、書くためのスキルの向上も徹底する、特に「文体」「文作法の技法」「文構成」の分野で「基礎」で習得したことが定着する能力を身につける	○	○		◎		
TWH09	アカデミック日本語Ⅰ	選択	3年	外国語分野(日本語)におけるアカデミックな文章力と構成力を身につけ、論理的な発表ができるようにする、パワーポイントを活用し、「説明のためのスピーチ」「意見表明のスピーチ」「提言のスピーチ」などのスピーチ力やレジュメ作りを重点的に行いながら基礎的語学能力を身につける	○	○		◎		
TWH10	アカデミック日本語Ⅱ	選択	3年	外国語分野(日本語)におけるアカデミックな文章力と構成力を身につけ、一定の分量の論文・レポートが正確に書けるようにする、テーマ設定をどのようにするか、また、文体や文構成のために何が必要か、多種の資料を読み合わせタスクも併用しながら基礎的語学能力を身につける	○	○		◎		
TWH11	ビジネス日本語Ⅰ	選択	3年	外国語分野(日本語)における待遇表現やビジネス場面での適切な表現を実践的に学ぶ、地域や社会の構成員として日本人との相互作用を経ながら、自由で的確な表現力を身につけ、自己実現を図り、その基盤となるよう多様なシチュエーションを準備しコミュニケーション力を身につける	○	○		◎		
TWH12	ビジネス日本語Ⅱ	選択	3年	外国語分野(日本語)における待遇表現やビジネス場面での適切な表現を実践的に学ぶ、電話のかけ方や訪問、依頼、断り、アドバイス、アポの変更、企業訪問用のメール作成の作業などを通し、日本社会で協働できる力を身につける	○	○		◎		
TWJ01	世界の言語Ⅰ	選択	2年	外国語分野における基礎的語学能力を身につける	◎	○				
TWJ02	世界の言語Ⅱ	選択	2年	外国語分野における基礎的語学能力を身につける	◎	○				
TWJ03	古典言語Ⅰ	選択	2年	外国語分野における基礎的語学能力を身につける	◎	○				
TWJ04	古典言語Ⅱ	選択	2年	外国語分野における基礎的語学能力を身につける	◎	○				

カリキュラム・マップ(豊橋校舎 共通教育科目)

科目コード	科目名	科目区分	配当年次	授業の到達目標	学習・教育目標との関連 ◎=強く関連、○=関連、△=やや関連)					
					①	②	③	④	⑤	⑥
TWK01	数理科学	選 択	1 年	数理・情報分野における数学の基礎的学習能力を身につける		○			◎	
TWK02	確率入門	選 択	1 年	数理・情報分野における確率の定義と基本的な性質を学習し基礎的学習能力を身につける		○			◎	
TWK03	統計学入門	選 択	1 年	数理・情報分野における統計学の考え方および基本的な性質について学び、簡単な統計量を求める能力を身につける		○			◎	
TWK04	マルチメディア表現	選 択	1 年	数理・情報分野における音、静止画、動画等の様々なコンテンツを理解し、これらを組み合わせた効果的な表現方法を身につける		○			◎	
TWK05	ネットワーク演習	選 択	1 年	数理・情報分野におけるインターネットの仕組みを理解し、簡単なLAN構築ができるようになる		○			◎	
TWK06	社会データ分析入門	選 択	1 年	数理・情報分野における統計データの扱い方と表計算ソフトの使い方を習得することにより、データの分析や表現と解析能力を身につける		○			◎	
TWK07	プログラミング	選 択	1 年	数理・情報分野におけるソフトウェアの仕組みを論理的に考え、簡単な機能構築ができる		○			◎	
TWK08	情報の科学	選 択	1 年	数理・情報分野における論理の操作、進数の変換、文字、画像、音声などの容量計算、文字データの検索や置換、表計算ソフトをつかったデータ処理の基礎的能力を身につける		○			◎	
TWK09	情報総合演習	選 択	1 年	数理・情報分野における基礎的情報リテラシー能力を身につける		○			◎	
TWK21	物質の科学	選 択	1 年	自然分野における必要な科学の知識と科学的素養、および物事を科学的論理的に分析できる思考能力を身につける	◎	○				
TWK22	地球の科学	選 択	1 年	自然分野における日本列島の地学的な特性を知り、災害、資源や環境問題を考えるための基礎的な知識を身につける	◎	○				
TWK23	宇宙の科学	選 択	1 年	自然分野における興味・理解度により、自然科学に対する苦手意識を無くすこと、興味を高める基礎的学習能力を身につける	◎	○				
TWK24	科学技術史	選 択	1 年	自然分野における科学技術の歴史の概要を知り、それが人類文明の中でどのような意味があるかを理解する	◎	○				
TWK25	現代技術と社会	選 択	1 年	自然分野における様々な技術に関して、その原理と社会への影響を考えられる基礎的学習能力を身につける	◎	○				
TWK26	地球環境問題	選 択	1 年	自然分野における地球環境問題の本質を正しく理解し、対応を模索する基礎的学習能力を身につける	◎	○				
TWK27	自然環境と地理	選 択	1 年	自然分野における基礎的な知識を習得し、自然環境の分析能力を身につける	◎	○				
TWK28	生物の科学	選 択	1 年	自然分野における生命操作技術として、遺伝子組換え技術や再生医療等に焦点をあて、生命活動の科学的基礎知識の習得により、安全で健康な生活とは何かを科学的論理的に分析・思考できる科学的素養を身につける	◎	○				
TWK29	生態学	選 択	1 年	自然分野における生き物の系統の重要性と、生き物が示すさまざまなパターンの意味を理解する視点を獲得する。また、多様な事象が相互にかかわり合っているという認識を得、基礎的学習能力を身につける	◎	○				
TWK30	動物行動学	選 択	1 年	自然分野における動物行動学に関する基礎的知見を身につける	◎	○				
TWK31	健康科学	選 択	1 年	自然分野における身近な健康問題から自身の健康管理の方法を学び実践する。我が国の死因の多くを占める生活習慣病について基礎知識を身につける	◎	○				
TWK32	スポーツ工学	選 択	1 年	自然分野におけるスポーツ工学やスポーツバイオメカニクスに関する専門用語や法則、研究手法等を実際のスポーツ場面に合わせ身につける	◎	○				
TWK33	トレーニング科学	選 択	1 年	自然分野におけるトレーニングの生理学的基礎・力学的基礎・生物学的基礎ならびに トレーニングの原理・原則 基礎的方法を身につける	◎	○				
TWK41	歴史学	選 択	1 年	社会分野における様々な歴史観を学び、歴史学の基本は史料から史実を見出すことが重要であることを理解し基礎的学習能力を身につける	◎	○				
TWK42	考古学	選 択	1 年	社会分野における歴史を踏まえた基礎的学習能力を身につける	◎	○				
TWK43	地理学	選 択	1 年	社会分野における日本列島の地理的性質と抱える課題を理解しつつ、世界的な視点で日本を把握する力量を養う	◎	○				
TWK44	社会学	選 択	1 年	社会分野における基本的な考え方や概念を理解し、説明できるようになる。社会学の基礎的な文献を読めるようになる。日常生活の中で遭遇する具体的な問題や出来事について、社会的事象との関連を想像しつつ考えられるようになる基礎能力を身につける	◎	○				
TWK45	情報と社会	選 択	1 年	社会分野における情報の送受に関して危険を回避できること、知的所有権や個人情報など基本的な法規について知識を得て権利侵害を回避できること、広告や評判システムのしくみを学び、賢い選択を可能にする基礎を築くこと、数量だけでなく、つながり方に注目して事象をみる眼を養うことを身につける	◎	○				
TWK46	レクリエーション論	選 択	1 年	社会分野における様々な対象者の交流について学び、地域の社会資源を積極的に調べ学ぶこと、レクリエーション活動を実施する際の情報収集・企画・実施・評価の手順を学び、手順にそった企画書が作成できる基礎的学習能力を身につける	◎	○				
TWK47	ジェンダー論	選 択	1 年	社会分野におけるジェンダーという概念を理解し、ジェンダー視点をもって社会のありよう、あるいは個人の生き方などを考える基礎的学習能力を身につける	◎	○				

カリキュラム・マップ(豊橋校舎 共通教育科目)

科目コード	科目名	科目区分	配当年次	授業の到達目標	学習・教育目標との関連 ◎=強く関連、○=関連、△=やや関連)					
					①	②	③	④	⑤	⑥
TWK48	政治学	選 択	1 年	社会分野における政治の機構(国会や内閣、官僚制など)や政治の過程(選挙、政党、利益集団など)の意義や働きを理解し、民主政治のあり方について考察できる分析力を身につける	◎	○				
TWK49	経済学	選 択	1 年	社会分野における現代経済の仕組みを理解し、基礎的な経済学を修得し、経済問題に際して自分で考えることができる基礎的学習能力を身につける	◎	○				
TWK50	法学	選 択	1 年	社会分野における法学の基本知識を学ぶことを通し、個人の尊厳性にもとづく人権の意義について考える力を身につける	◎	○				
TWK51	経営学	選 択	1 年	社会分野における企業をはじめとする経営に関して受講者が自ら問題を発見し、それを分析する力を身につける	◎	○				
TWK52	憲法	選 択	1 年	社会分野における憲法の基本的な原理やしくみを理解し憲法に基づいて物事を考える基礎的学習能力を身につける	◎	○				
TWK71	哲学	選 択	1 年	人文分野における哲学の思考法について一定の理解を得ると同時に、今日の人文系諸学のパラダイムを概観し基礎的学習能力を身につける	◎	○				
TWK72	論理学	選 択	1 年	人文分野における論理的に真である(正しい)とはどういうことかを理解し、日常生活でも論理的な正しさを実践できることを身につける	◎	○				
TWK73	宗教学	選 択	1 年	人文分野における宗教の様相を学ぶことで、宗教と社会との関係について理解を深め、主体的に宗教について考えるための基礎知識および方法を習得する	◎	○				
TWK74	心理学	選 択	1 年	人文分野における教養としての心理学全般を学ぶ。学問としての心理学が扱うものと扱わないもの、できることとできないことの違いを正しく理解し、実社会における心理学の現実的な応用可能性について考えることができるよう基礎的学習能力を身につける	◎	○				
TWK75	文化人類学	選 択	1 年	人文分野における文化人類学に関する基礎知識を得ること、文化人類学の方法を知り、文化について考察できる基礎的学習能力を身につける	◎	○				
TWK76	現代の思想	選 択	1 年	人文分野における現代の問題について考えるための基本的知識を身につける	◎	○				
TWK77	民俗学	選 択	1 年	人文分野の民俗学における基礎的学習能力を身につける	◎	○				
TWK78	スポーツ文化論	選 択	1 年	人文分野におけるスポーツが文化であることを理解・説明でき、次世代にスポーツ文化を正確に伝播できる基礎知識を身につける	◎	○				
TWK79	日本事情 I	選 択	1 年	人文分野における日本についての理解を深め、アンケート調査やレポート作成とその発表のスキル、基礎的学習能力を身につける	◎	○				
TWK80	日本事情 II	選 択	1 年	人文分野における日本の社会問題や社会事情についての理解を深め、それらについて自ら調べて発表する基礎的学習能力を身につける	◎	○				
TWK81	文学	選 択	1 年	人文分野において、古今東西の文学作品の鑑賞を通じて、その表現、テーマを学び、基礎的学習能力を身につける	◎	○				
TWK82	日本語学	選 択	1 年	人文分野における日本語について多様な角度から、学問的知識を学び基礎的学習能力を身につける	◎	○				
TWK83	古典の世界	選 択	1 年	人文分野における古典文学に親しみ、文字文化への興味を喚起しつつ読解力や表現力を高め、基礎的学習能力を身につける	◎	○				
TWK84	言語と文化	選 択	1 年	人文分野における言語と文化の特質を知り、世界におけるその位置と役割について知ることで基礎的学習能力を身につける	◎	○				
TWK85	芸術論	選 択	1 年	人文分野の芸術における自然や自由の意味を考え、基礎的学習能力を身につける	◎	○				
TWL01	総合科目 1	選 択	1 年	共通教育各分野を総合的に包括し、学習能力を身につける	△	◎	○			
TWL02	総合科目 2	選 択	1 年	共通教育各分野を総合的に包括し、学習能力を身につける	△	◎	○			
TWL03	総合科目 3	選 択	1 年	共通教育各分野を総合的に包括し、学習能力を身につける	△	◎	○			
TWL11	総合演習	選 択	2 年	共通教育各分野を総合的に包括し、演習形式授業にて専門教育科目に必要な学習能力を身につける	△	◎	○			
TWM01	スポーツ・健康演習	必 修	1 年	体育分野において、健康演習で得られた食生活および生活習慣病に関する知識に基づき、自分自身の生活を振り返ると共に健康的な生活を送るための生活プランを立てることができる 体力測定演習で得られた自分のデータに基づき、体力の維持・向上を目的とした無理のない運動プランを立てることができる 屋内・屋外種目として実施したスポーツ種目について、種目の特性を活かした身体運動を実施することができる 各種トレーニングについて目的に合わせたトレーニングを選び実践することができる	○		○			◎
TWM02	スポーツ実技 I	選 択	2 年	体育分野において、継続的な運動を行うために必要な運動特性の基本理解、施設用具とルールについての知識習得、体力や技術を向上させる基礎的能力を身につける	△		○			◎
TWM03	スポーツ実技 II	選 択	2 年	体育分野において、継続的な運動を行うために必要な運動特性の基本理解、施設用具とルールについての知識習得、体力や技術を向上させる基礎的能力を身につける	△		○			◎

カリキュラム・マップ(文学部)

学習・教育目標	①問題を発見する力 ②調査をする力 ③資料・テキストを解釈する力 ④データを分析する力 ⑤創造し表現する力 ⑥コミュニケーションする力
---------	--

科目コード	科目名	科目区分	担当コース	配当年次	授業の到達目標	学習・教育目標との関連 ◎=強く関連、○=関連、△=やや関連)					
						①	②	③	④	⑤	⑥
LLA01	人文社会科学総合研究	必修	心理	1年	人文社会学研究の全体像を理解する。	◎	△	○	○	△	△
LLA02	卒業論文	必修	歴史	4年	テーマ発掘力、調査力、資料の解釈・分析力、ものごとを自分なりに考え、新たなものを創造し、表現する力、また自分で導き出したものや創造したものを人前で発表する力、質問や批判に答え、他者と対話する力を養う。	◎	◎	◎	◎	◎	◎
LLA11	入門講義(現代文化)	選択	現代	1年	事物に対する幅広い視野を持てる。積極的に議論に参加できる。						
LLA12	入門講義(社会学)	選択	社会	1年	1 社会学における基礎的な概念を理解する。 2 現実社会における問題を、社会学的視点から発見する。 3 以上をととして社会学的な思考法を身につける。	◎		○	○	○	○
LLA13	入門講義(心理学)	選択	心理	1年	心理学における代表的な知見を学習し理解する。						
LLA14	入門講義(歴史・地理学)	選択	歴史	1年	歴史・地理学各分野の概要と基礎的な方法論を理解する。	◎		△	△		
LLA15	入門講義(日本語日本文学)	選択	日文	1年	日本語と日本文学に関する知的好奇心を喚起し、理解力と読解力の向上を目指す。	◎	○	◎	△	◎	○
LLA16	入門講義(欧米言語文化)	選択	欧米	1年	欧米言語文化コースの各専攻の研究内容を理解する。	◎		◎			
LLA21	入門演習(現代文化)	選択	現代	1年	現代文化コースのそれぞれの専攻の観点から、ディシプリンの中核となる発想法や概念を習得し、併せてテキスト読解、文書作成、プレゼンテーション能力の基盤を培う。	◎	○	◎	○	◎	◎
LLA22	入門演習(社会学)	選択	社会	1年	1. 問題発見力を習得できる。 2. 論理的思考力を習得できる。 3. 口頭・文章表現力を習得できる。 4. コミュニケーション力を習得できる。	◎		○	○	○	◎
LLA23	入門演習(心理学)	選択	心理	1年	臨床心理学への関心と理解を深める	◎	◎	○	◎	◎	○
LLA24	入門演習(歴史・地理学)	選択	歴史	1年	歴史・地理学各分野における基礎的な調査能力・文献や資料の読解能力を身につける。	○	○	◎	○	○	△
LLA25	入門演習(日本語日本文学)	選択	日文	1年	演習という形式の中で構造や語りの技法について双方向的に学び、小説を論理的に解釈し得る視点の獲得を目標とする。	◎	△	◎	△	○	◎
LLA26	入門演習(欧米言語文化)	選択	欧米	1年	欧米言語文化コースの各専攻の研究方法を具体的な資料を使って実践する。	◎		◎			
LLB01	現代文化基礎論Ⅰ	必修	現代	2年	現代の文化状況を俯瞰的に理解するために、必要な基礎概念と現状についての概略的理解を獲得する。	◎	○	○	○	△	△
LLB02	現代文化基礎論Ⅱ	必修	現代	2年	文化、情報の観点から現代文化をとらえるための基礎知識を習得する。	◎	○	○	○	△	△
LLB03	表現実習	必修	現代	2年	表現力、コミュニケーション能力、協働する力を養う。	△	○	△	△	◎	◎
LLB04	現代文化演習Ⅰ	必修	現代	3年	現代文化コースのそれぞれの専攻の観点から、現代文化に切り込むための基礎力および応用力を養成する。	◎	○	◎	○	◎	◎
LLB05	現代文化演習Ⅱ	必修	現代	3年	現代文化コースのそれぞれの専攻の観点から、現代文化に切り込むための基礎力および応用力を定着させる。	◎	○	◎	○	◎	◎
LLB06	現代文化演習Ⅲ	必修	現代	4年	現代文化コースのそれぞれの専攻の観点から、現代文化に切り込むための応用力、発信力を養成する。	◎	○	◎	○	◎	◎
LLB07	現代文化演習Ⅳ	必修	現代	4年	現代文化コースのそれぞれの専攻の観点から、現代文化に切り込むための応用力、発信力を定着させる。	◎	○	◎	○	◎	◎
LLC01	東アジア文化基礎演習Ⅰ	必修	現代	2年	辞書の引き方・工具書の使い方を習得するとともに、東アジア文化の特徴を知る。	◎	◎	◎		○	○
LLC02	東アジア文化基礎演習Ⅱ	必修	現代	2年	研究論文の書き方を知る。	◎	◎	◎		◎	○
LLC03	東アジア文化講読Ⅰ	必修	現代	2年	辞書の引き方、漢文の語法を習得し、東アジアの代表的な思想家の文章が読めるようになること。	○	◎	◎			
LLC04	東アジア文化講読Ⅱ	必修	現代	2年	漢文資料の読解力を養う。	○	◎	◎			
LLC05	東アジア文化講読Ⅲ	必修	現代	3年	日本の古代の政治・文化に触れ、大陸との交流に対する知識を増やす。さらに、漢文訓読にも習熟する。	○	◎	◎			
LLC06	東アジア文化講読Ⅳ	必修	現代	3年	日本の古代の政治・文化に触れ、大陸との交流に対する知識を増やす。さらに、漢文訓読にも習熟する。	○	◎	◎			
LLC07	東アジア文化概論	必修	現代	2年	東アジア文化の全般的な特徴を知る。	◎	○				
LLC08	東アジア文化特殊講義Ⅰ	必修	現代	2年	東洋造形芸術における作品受容を理解する。	◎	○	○			
LLC09	東アジア文化特殊講義Ⅱ	必修	現代	2年	2014年度開講なし。	◎	○	○			
LLC10	哲学基礎演習Ⅰ	必修	現代	2年	哲学的議論の基礎力の習得。基本的、初歩的な哲学的問題を取り上げ、議論していく。	○	○	○		○	◎
LLC11	哲学基礎演習Ⅱ	必修	現代	2年	哲学書を正確に読むことができ、自分の解釈を文章で表現し、発表できること。	○	○	◎	△	◎	○
LLC12	ドイツ哲学講読A	必修	現代	2年	ドイツ哲学の主要著作を通読し、テキスト読解力と最低限の語学力を養成する。	○	◎	◎		△	△
LLC13	フランス哲学講読A	必修	現代	2年	1) 哲学書の原文を正確に読んだ上で、それをもとに自らの思考を発展させる能力を身につける。 2) フランス語の原文を精読することで、中級以上のフランス語読解能力を鍛える。 3) ベルクソンの思想を哲学史の流れに位置づけ、現代的問題を考えるにあたっての一助となるようにする。	○	◎	◎		△	
LLC14	ギリシア哲学講読A	必修	現代	2年	古代ギリシア哲学を理解するための基礎力の養成。	○	△	◎		△	◎
LLC15	ドイツ哲学講読B	必修	現代	2年	ドイツ哲学の主要著作を通読し、基礎的なテキスト読解力と最低限の語学力を養成する。	○	◎	◎		△	
LLC16	フランス哲学講読B	必修	現代	2年	1) 哲学書の原文を正確に読んだ上で、それをもとに自らの思考を発展させる能力を身につける。 2) フランス語の原文を精読することで、中級以上のフランス語読解能力を鍛える。 3) ベルクソンの思想を哲学史の流れに位置づけ、現代的問題を考えるにあたっての一助となるようにする。	○	◎	◎		△	
LLC17	ギリシア哲学講読B	必修	現代	2年	古代ギリシア哲学を理解するための基礎力の定着。	○	△	◎		△	◎

カリキュラム・マップ(文学部)

科目コード	科目名	科目区分	担当コース	配当年次	授業の到達目標	学習・教育目標との関連 ◎=強く関連、○=関連、△=やや関連					
						①	②	③	④	⑤	⑥
LLC18	ドイツ哲学講読C	必修	現代	2年	ドイツ哲学の主要著作を通読し、発展的なテキスト読解力と最低限の語学力を養成する。	○	◎	◎		△	△
LLC19	フランス哲学講読C	必修	現代	2年	1) 哲学書の原文を正確に読んだ上で、それをもとに自らの思考を発展させる能力を身につける。 2) フランス語の原文を精読することで、中級以上のフランス語読解能力を鍛える。 3) ベルクソンの思想を哲学史の流れに位置づけ、現代的問題を考えるにあたっての一助となるようにする。	○	◎	◎		△	△
LLC20	ギリシア哲学講読C	必修	現代	2年	古代ギリシア哲学を現代にいかすための基礎力の養成。	○	△	◎		△	◎
LLC21	ドイツ哲学講読D	必修	現代	2年	ドイツ哲学の主要著作を通読し、発展的なテキスト読解力と最低限の語学力を養成する。	○	◎	◎		△	△
LLC22	フランス哲学講読D	必修	現代	2年	1) 哲学書の原文を正確に読んだ上で、それをもとに自らの思考を発展させる能力を身につける。 2) フランス語の原文を精読することで、中級以上のフランス語読解能力を鍛える。 3) ベルクソンの思想を哲学史の流れに位置づけ、現代的問題を考えるにあたっての一助となるようにする。	○	◎	◎		△	△
LLC23	ギリシア哲学講読D	必修	現代	2年	古代ギリシア哲学を現代に生かすための応用力の定着。	○	△	◎		△	◎
LLC24	哲学概説I	必修	現代	2年	学問としての哲学についての体系的な基礎知識を身につける。	◎		○		○	△
LLC25	哲学概説II	必修	現代	2年	哲学の古典にふれ、その内容と雰囲気を実際に体験できること。	◎	○	◎	○	○	△
LLC26	西洋哲学史I	必修	現代	2年	西洋古代、中世哲学史の基礎知識を習得する。	◎	◎	◎			
LLC27	西洋哲学史II	必修	現代	2年	西洋近世、現代哲学史の基礎知識を習得する。	◎	◎	◎			
LLC28	図書館情報サービスA	必修	現代	2年	図書館サービスの意義と理念を知ること。図書館サービスの内容と方法を理解すること。 館種別図書館サービスと図書館協力を理解すること。図書館サービスの再構築を考えること。	○	◎	◎	○	△	△
LLC29	図書館情報サービスB	必修	現代	2年	図書館における情報サービスの意義、種類を理解できること。情報サービスに用いる多くの情報源について理解できること。 文献検索における検索方法や探索方法を理解できること。レファレンスサービスの意味を理解し、さらにレファレンスブックやレファレンスの利用方法を理解すること。	○	◎	◎	○	△	◎
LLC30	調査検索実習	必修	現代	2年	ゼミ研究や卒業論文の研究のために必要な、文献情報やデータの収集、評価、編集ができるようになる。	○	◎	◎	◎	○	○
LLC31	図書館情報資源論	必修	現代	2年	図書館情報資源の多種多様な特性や形態の理解とともに、情報資源を情報メディア環境や生産・流通、社会の動向のなか位置づけて理解することを求める	△	△	◎	◎	◎	△
LLC32	図書館情報学講読I	必修	現代	2年	ライブラリアンシップを理解し、プロフェッショナル・ライブラリアン、サブジェクト・ライブラリアンの重要性を理解すること。	◎	○	◎	○	△	△
LLC33	図書館情報学講読II	必修	現代	2年	専門分野の文献を読む基礎的な能力を身につける。	◎	○	◎	○	△	◎
LLC34	情報処理A	必修	現代	2年	プログラミングの基礎を理解し、自分の力でアプリを作成する。	△	○	△	◎	◎	△
LLC35	情報処理B	必修	現代	2年	SQL言語の基礎を理解し、自分の力でデータベースへの問い合わせができる。	△	○	△	◎	◎	△
LLC36	専門情報A	必修	現代	2年	2014年度開講なし。	○	○	◎	△	△	△
LLC37	専門情報B	必修	現代	2年	講義を通して、さまざまな逐次刊行物の特徴を理解し、図書館において有効に活用できる力を身につける。	○	○	◎	△	△	△
LLC38	専門情報C	必修	現代	2年	2014年度開講なし。	○	○	◎	△	△	△
LLC39	専門情報D	必修	現代	2年	東洋における書物の歴史を理解する。	○	○	◎	△	△	△
LLC40	情報資源各論A	必修	現代	2年	自然科学の活動、およびその分野の情報資源の基本的特徴を知る。	△	◎	◎	△	△	△
LLC41	情報資源各論B	必修	社会	2年	社会学の歴史の理解と、著作の理解。	△	◎	◎	△	△	△
LLC42	メディア芸術研究法	必修	現代	2年	専攻の実習、演習、卒業制作で使用する機材等について基礎知識と安全な操作方法を習得する。	◎	△	○	△	◎	◎
LLC43	現代芸術論実習A	必修	現代	2年	アートの身体性を理解し、言語化し、他者に伝える力を習得する。	◎	○	◎	○	◎	◎
LLC44	現代メディア芸術論実習A	必修	現代	2年	アートを様々な領域に活かすための感性と発想力を体験を通じて習得する。	○	△	○	△	◎	◎
LLC45	マルチメディア制作実習A	必修	現代	2年	映像機材の操作方法を習得し、映像メディアの成り立ちと特性を理解する。	○	△	△	○	◎	◎
LLC46	現代芸術論実習B	必修	現代	2年	多様な視点から作品を解釈し批評する鑑賞力と文章力を養う。	○	◎	◎	○	○	◎
LLC47	現代メディア芸術論実習B	必修	現代	2年	アートを様々な領域に活かすための感性と発想力を体験を通じて習得する。	○	△	○	△	◎	◎
LLC48	マルチメディア制作実習B	必修	現代	2年	映像機材の操作方法を習得し、映像メディアの成り立ちと特性を理解する。	○	△	△	○	◎	◎
LLC49	現代芸術論実習C	必修	現代	2年	アートの身体性を理解し、言語化し、他者に伝える力を習得する。	◎	○	◎	○	◎	◎
LLC50	現代メディア芸術論実習C	必修	現代	2年	アートを様々な領域に活かすための感性と発想力を体験を通じて習得する。	○	△	○	△	◎	◎
LLC51	マルチメディア制作実習C	必修	現代	2年	映像機材の操作方法を習得し、映像メディアの成り立ちと特性を理解する。	○	△	△	○	◎	◎
LLC52	現代芸術論実習D	必修	現代	2年	多様な視点から作品を解釈し批評する鑑賞力と文章力を養う。	○	◎	◎	○	○	◎
LLC53	現代メディア芸術論実習D	必修	現代	2年	アートを様々な領域に活かすための感性と発想力を体験を通じて習得する。	○	△	○	△	◎	◎
LLC54	マルチメディア制作実習D	必修	現代	2年	映像機材の操作方法を習得し、映像メディアの成り立ちと特性を理解する。	○	△	△	○	◎	◎
LLC55	メディア芸術概論I	必修	現代	2年	20世紀以降の現代芸術作品を通史的に学習し、現代芸術の基礎知識を身につける。	◎	△	◎	○	○	△
LLC56	メディア芸術概論II	必修	現代	2年	アートと社会の関わりや可能性について自分の考えを他者に説明し説得できる言葉を持つ。	◎	◎	◎	◎	○	◎
LLC57	美学概論I	必修	現代	2年	美学の基本的な用語や知識を作品を通して理解し現代社会の事象と結びつけて考える力を養う。	○	△	◎	△	◎	△
LLC58	美学概論II	必修	現代	2年	美学の基本的な用語や知識を作品を通して理解し現代社会の事象と結びつけて考える力を養う。	○	△	◎	△	◎	△
LLD01	中国思想I	選択	現代	2年	朱子学における実利主義に多する評価を理解し、それがどのように変化したのかを理解する。	◎	○	○			
LLD02	中国思想II	選択	現代	2年	士人意識に対する理解を深める。	◎	○	○			



カリキュラム・マップ(文学部)

科目コード	科目名	科目区分	担当コース	配当年次	授業の到達目標	学習・教育目標との関連 ◎=強く関連、○=関連、△=やや関連					
						①	②	③	④	⑤	⑥
LLD03	日 本 思 想	I	選 択 現 代	2 年	朱子学と陽明学の内容、及びそれらが江戸時代にどのように展開したか、日本人的特徴を理解する。	◎	○	○			
LLD04	日 本 思 想	II	選 択 現 代	2 年	朱子学と陽明学の内容、及びそれらが江戸時代にどのように展開したか、日本人的特徴を理解する。	◎	○	○			
LLD05	イ ン ド 思 想	I	選 択 現 代	2 年	学生は授業を通して、西洋哲学とは異なるインド哲学の特徴を知ることができる。またインド思想は仏教を通して日本思想にも影響を与えているので、日本思想を研究するうえでも踏まえておきたいものである。この授業により、学生は考える力ばかりではなく、授業での討論により、問題点を整理し、それを解決する能力を身につけることが可能となる。	◎	○	○			
LLD06	イ ン ド 思 想	II	選 択 現 代	2 年	2014年度開講なし。	◎	○	○			
LLD07	中 国 文 学	I	選 択 現 代	2 年	『詩経』から盛唐までの詩歌の歩みの概要を理解し、各時代の特色、主な作者と作品についての基本的な知識を習得することを主な目標とする。また、それに伴い、中国の歴史や地理に関する基礎知識を習得すること、テキストの読解を通じて日本語（現代文・漢文）能力の向上を目指すことも、目標とした。	◎	○	○			
LLD08	中 国 文 学	II	選 択 現 代	2 年	唐代から清代を経て近代に至るまでの詩歌の歩みの概要を理解し、各時代の特色、主な作者と作品についての基本的な知識を習得することを主な目標とする。また、それに伴い、中国の歴史や地理に関する基礎知識を習得すること、テキストの読解を通じて日本語（現代文・漢文）能力の向上を目指すことも、目標とした。	◎	○	○			
LLD09	東 ア ジ ア の 言 語	I	選 択 現 代	2 年	漢字の字体・意味・発音(形音義)について知識や理解を深める。	◎	○	○			
LLD10	東 ア ジ ア の 言 語	II	選 択 現 代	2 年	中国語学習時に断片的に学ぶことを項目別にまとめ、理解を深める。	◎	○	○			
LLD11	文 化 交 流 史	I	選 択 現 代	2 年	漢字文化というものを国という枠組みを超えて見つめなおす視点を養う。	◎	○	○			
LLD12	文 化 交 流 史	II	選 択 現 代	2 年	漢字文化・漢字文学を、国という枠組みを超えて、見つめなおす視点を養う。	◎	○	○			
LLD13	漢 文 学	I	選 択 現 代	2 年	漢文の基本構造を理解し、漢文文献を訓読法で読むための基礎的な力を身につけることを目標とする。			◎			
LLD14	漢 文 学	II	選 択 現 代	2 年	辞書を頼りに漢文の白文を解読する技能の修得を目指す。			◎			
LLD15	書 画 論	I	選 択 現 代	2 年	書画に関するさまざまな表現について知見を広め、自らの表現に活かすことができる。	◎	△	△		◎	
LLD16	書 画 論	II	選 択 現 代	2 年	2014年度開講なし。	◎	△	△		◎	
LLD17	書 道	I	選 択 現 代	2 年	楷書における字形のとり方や配字法などについて理解し、日常の書字に活かすことができる。					◎	
LLD18	書 道	II	選 択 現 代	2 年	楷書と行書における字形のとり方や配字法などについて理解し、日常の書字に活かすことができる。					◎	
LLD19	倫 理 学 概 論	選 択 現 代	2 年	倫理的な分析の基礎を学ぶとともに、倫理的問題を柔軟にとらえる訓練も目標とした。	◎	△	○		△	△	
LLD20	応 用 倫 理 学 概 論	選 択 現 代	2 年	応用倫理学の現状について概略的な理解を得ると同時に、基礎概念を記憶に定着させる。	◎	○	○	△		○	
LLD21	哲 学 特 殊 講 義 A	選 択 現 代	2 年	哲学の現在進行形の議論状況を理解しそれに参入する力を養成する。	○	○	○		○	○	
LLD22	哲 学 特 殊 講 義 B	選 択 現 代	2 年	西洋及び近代日本の哲学を理解し、現実に対処する思考力を身につけること。	◎	○	◎	△	○	△	
LLD23	哲 学 特 殊 講 義 C	選 択 現 代	2 年	哲学の現在進行形の議論状況を理解しそれに参入する力を養成する。	○	○	○		○	○	
LLD24	哲 学 特 殊 講 義 D	選 択 現 代	2 年	西洋及び近代日本の哲学を理解し、現実に対処する思考力を身につけること。	◎	○	◎	△	○	△	
LLD25	宗 教 学 概 論	選 択 現 代	2 年	2014年度開講なし。	◎	○	○	△	△	△	
LLD26	宗 教 思 想 史	選 択 現 代	2 年	2014年度開講なし。	◎	○	○	△	△	△	
LLD27	情 報 政 策	選 択 現 代	2 年	図書館に関する法律と関連領域の法律を解説し、現在の図書館政策に関する問題点を理解させる。図書館経営の考え方、図書館員の育成について説明し、日米の図書館経営の相違を考究しながら、今後の図書館の発展を考えさせる。	◎	△	○	△	△	△	
LLD28	メ デ ィ ア 史	選 択 現 代	2 年	メディアの発達変遷過程の基本を知る。	○	△	△	△	○	△	
LLD29	情 報 組 織 化 A	選 択 現 代	2 年	情報の組織化における主題情報の組織化について、図書館外の様々な分野における分類法なども踏まえて、広い視野からの理解を図る。	○	○	○	○	△	△	
LLD30	情 報 組 織 化 B	選 択 現 代	2 年	情報の組織化における二次情報化としての図書館の目録/書誌情報を中心に、メタデータについての基本的な理解を図る。	○	○	○	○	△	△	
LLD31	知 識 組 織 法 A	選 択 現 代	2 年	主題から情報資源へのアクセスを可能にするための手段について、理論的基礎を理解する。	◎	△	△	◎	○	△	
LLD32	知 識 組 織 法 B	選 択 現 代	2 年	主題からのアクセスのための分類法に関する基礎理論を理解する。	◎	△	△	○	◎	△	
LLD33	日 本 書 誌 学	選 択 現 代	2 年	2014年度開講なし。	△	○	○	△	△	△	
LLD34	専 門 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン	選 択 現 代	2 年	専門用語、ターミノロジーの機能、実務の概要を知り、その基礎理論を理解する。	△	△	○	○	○	◎	
LLD35	文 書 館 概 論	選 択 現 代	2 年	アーカイブズ（記録史料）とアーカイブズ（文書館）に関する基礎知識を習得し、社会の重要なインフラであるアーカイブズに対する認識を獲得する。	◎	△	◎	△	△	△	
LLD36	知 的 財 産 権	選 択 現 代	2 年	知的財産権法の概略を知り、企業が開発をした製品がどのように保護されているかを理解し、他人の権利を侵害しないための方法を理解すること。	◎	△	○	○	△	△	
LLD37	現 代 芸 術 論 I	選 択 現 代	2 年	アーツマネジメントと文化政策に関する基礎知識を習得する。	○	◎	◎	◎	△	○	
LLD38	現 代 芸 術 論 II	選 択 現 代	2 年	舞台表現、映像表現における光と影の効果や手法についての基礎知識と感性を養う。	○	△	○	△	◎	◎	
LLD39	現 代 メ デ ィ ア 芸 術 論 I	選 択 現 代	2 年	平面における視覚情報の基本構造を理解すること。グラフィックデザインの実践に不可欠であるソフトウェアに関する基礎的な知識を習得すること。	○	△	◎	○	◎	○	
LLD40	現 代 メ デ ィ ア 芸 術 論 II	選 択 現 代	2 年	様々な映像作品に触れ、その鑑賞体験を的確に表現できる言葉を獲得する。今後、より深い映像体験ができるよう、過去の名作の見どころを知る。	○	△	◎	△	◎	△	
LLD41	メ デ ィ ア 芸 術 特 殊 講 義	選 択 現 代	2 年	地域社会における劇場の役割や運営についての基礎知識を持って企画を考える力を養う。	○	○	◎	◎	○	◎	
LLD42	芸 術 史	選 択 現 代	2 年	美術作品を通じて歴史的考察力を養う。							
LLD43	演 劇	選 択 現 代	2 年	領域横断的なマルチメディアシアターや先端的な表現領域を含めた演劇史の基礎知識を得る。	○	◎	◎	△	○	△	
LLD44	映 画	選 択 現 代	2 年	映画技術の発展を学ぶことで映像表現の特性を理解しつつ、映像鑑賞に有効な感性を養う。	○	◎	◎	△	○	△	
LLD45	児 童 サ ー ビ ス 論	選 択 現 代	2 年	赤ちゃんからヤングアダルトまで、各年代に向けた資料の種類と特性についての知識を獲得する。また、読み聞かせやストーリーテリング、レファレンスなどの子どもと資料を結ぶ方法や、学校や保健所、ボランティア等との連携についての知識と技術を習得する。	○	△	○	△	△	◎	

カリキュラム・マップ(文学部)

科目コード	科目名	科目区分	担当コース	配当年次	授業の到達目標	学習・教育目標との関連 ◎=強く関連、○=関連、△=やや関連					
						①	②	③	④	⑤	⑥
LLE01	社会学概論	必修	社会	2年	社会学の歴史と考え方の把握。	◎	△	◎	○		
LLE02	社会調査法	必修	社会	2年	実証的研究の方法論と技法、対象の選定と調査票の作成を学ぶ。	◎	◎	○	◎		
LLE03	社会調査データ分析法	必修	社会	2年	数値化された情報を解析するための基礎の習得。	◎	○	◎	◎	○	
LLE04	社会調査実習	必修	社会	2年	フィールドでのデータの収集・分析報告書の作成。	◎	◎	◎	◎	◎	◎
LLE05	社会学演習Ⅰ	必修	社会	3年	著書・論文の読解方法、および文章作成能力の養成。	◎	◎	◎	◎	◎	◎
LLE06	社会学演習Ⅱ	必修	社会	3年	著書・論文の読解方法、および文章作成能力の養成。	◎	◎	◎	◎	◎	◎
LLE07	社会学演習Ⅲ	必修	社会	4年	著書・論文の読解方法、および文章作成能力の養成。	◎	◎	◎	◎	◎	◎
LLE08	社会学演習Ⅳ	必修	社会	4年	著書・論文の読解方法、および文章作成能力の養成。	◎	◎	◎	◎	◎	◎
LLF01	現代社会論	必修	社会	2年	近代社会の発展と現代社会の未問題について、社会学の観点から把握する。	◎	△	◎		△	○
LLF02	地域社会学	必修	社会	2年	・地域社会学の基本的な考え方や概念を理解し、説明できるようになること。 ・地域社会学の基礎的な文献を読めるようになること。 ・地域社会において起きている具体的な問題や出来事について、社会構造との関連を想像しつづ考えられるようになること。	◎	△	○	○	△	
LLF03	集団・組織論	必修	社会	2年	春学期の概論とあわせて、社会学についての一般的なイメージをもつこと。社会科学全般のなかで、社会学を学ぶことに、自分なりにどんな意義を見いだし得るのか、考える機会となるとよいだろう。	◎	△	○	○	△	
LLF04	共生社会論	必修	社会	2年	・差別と共生に関する基礎的な概念を理解する。 ・共生社会への構造を理解する。 ・共生社会の実現というテーマに接近するための思考法を身につける。	◎	△	○	○	○	
LLF05	コミュニケーション論	必修	社会	2年	コミュニケーションについての基礎的な概念を修得するとともにクーリーとミードの理論を見ることでコミュニケーションで社会を分析するための基本的な考え方を修得する。	◎	△	◎	○		
LLF06	カルチュラル・スタディーズ(文化研究)	必修	社会	2年	カルチュラル・スタディーズ、社会学における文化の理論を学ぶ。また社会と文化の関係や現代社会における文化のあり方について考察する。	◎	△	○	○	△	
LLG01	教育社会学	選択	社会	2年	学校教育を中心とした近代教育の発展過程とその構造的な転換の関係について理解し、その矛盾を克服するための生涯学習社会構想の実態と具体的な施策について多面的に考察し、新しい教育と社会のあり方を考える。	◎	△	○	○	△	
LLG02	環境社会学	選択	社会	2年	環境問題の歴史と事例を学び、環境社会学の方法論と実践的可能性を探る。	◎	△	○	○	△	
LLG03	産業社会学	選択	社会	2年	2014年度開講なし。	◎	△	○	○	△	
LLG04	政治社会学	選択	社会	2年	現代社会の諸問題を理論的に捉える力を身につける。	◎	△	○	○	△	
LLG05	福祉社会学	選択	社会	2年	現代社会における福祉の諸問題について基本的な枠組みや問題を理解する。	◎	△	○	○	△	
LLG06	情報社会学	選択	社会	2年	ものごとを広い視野で捉えることができるようにする。	◎	△	○	○	△	
LLG07	市民参加論	選択	社会	2年	近代市民社会の発展過程における社会運動の歴史を理解し、市民参画型社会に向けた具体的な参加の方法について考察する。	◎	△	○	○	△	
LLG08	マス・コミュニケーション論	選択	社会	2年	ものごとを広い視野で捉えることができるようにする。	◎	△	○	○	△	
LLG09	社会人類学	選択	社会	2年	1. 「考え方・視点は多様である」という人類学的思考の基礎が身につく。 2. 自殺についての様々な研究方法や理解の仕方があることを知っている。	◎	△	○	○	△	
LLG10	家族社会学	選択	社会	2年	・家族社会学の基礎的な概念・視点・方法を理解する。 ・現代の家族をめぐる状況の変化を理解し、批判的に議論できるようになる。 ・以上を踏まえ、家族に関わる諸現象について社会学的観点から考察できる。	◎	△	○	○	○	
LLG11	社会心理学	選択	社会	2年	社会を構成する対人関係の理解。	◎	○	○	○		
LLG12	キャリア発達論	選択	社会	2年	キャリアを創造するための基本的な考え方の理解。	◎	○	◎	○	○	○
LLG13	自己論	選択	社会	2年	自己についての基礎的な概念の修得とともに、アメリカの社会的自己論の系譜をたどり、自己についての深い知識を得る。	◎	△	○	○		
LLG14	精神分析学	選択	社会	2年	社会分析や文化分析に精神分析理論が、どのように使われているのかをさまざまな事例や材料をもとに理解する。	◎	△	○	○	△	
LLG15	逸脱の社会学	選択	社会	2年	現時点での、個別の青少年問題・逸脱問題(たとえば、いじめ・ひきこもり・非行・等)を近視眼的に理解するのではなく、戦後の長い歴史の中で青少年の問題・逸脱を理解すること。その際、歴史的言説とは異なる事実、歴史の中で埋没された事実、今現在の問題が既に数十年前から指摘されている事実、同じようなことが時代を超えて何度も出現しているという事実、これらの隠れてしまった事実の重要性を認識すること。	◎	△	○	○	△	
LLG16	ジェンダー・セクシュアリティ論	選択	社会	2年	普段の生活ではアンタッチャブルとされている性の領域を、あらためて自分自身で考え、その広大無限でかつ魅惑とした世界と向き合いたい。	◎	△	○	○	△	
LLG17	宗教社会学	選択	社会	2年	1)宗教社会学の基礎概念に習熟すること。 2)宗教や犠牲の基礎的教養を身につけること。 3)文明論的思考に目覚めること。	◎	△	○	○	△	
LLG18	ソーシャルネットワーク論	選択	社会	2年	現代社会において重要な役割を担っているソーシャルメディアに関する現状を理解し、その影響についての認識を理解する。	◎	△	○	○	△	
LLG19	都市社会学	選択	社会	2年	・都市社会学の基本的な考え方や概念を理解し、説明できるようになること。 ・都市社会学の基礎的な文献を読めるようになること。 ・都市において起きている具体的な問題や出来事について、社会構造との関連を想像しつづ考えられるようになること。	◎	△	○	○	△	

カリキュラム・マップ(文学部)

科目コード	科目名	科目区分	担当コース	配当年次	授業の到達目標	学習・教育目標との関連 ◎=強く関連、○=関連、△=やや関連					
						①	②	③	④	⑤	⑥
LLH01	心理学研究方法	必修	心理	2年	心理学の基礎的な研究方法に対する理解を図る。	○	◎	◎	◎	○	
LLH02	心理学基礎実験Ⅰ	必修	心理	2年	心理学の実験遂行に求められる基本的知識と技能を習得する。	◎	△	◎	◎	◎	◎
LLH03	心理学基礎実験Ⅱ	必修	心理	2年	心理学の実験法および観察法、調査法の基本的知識と技能を習得する。	◎	◎	◎	◎	◎	◎
LLH04	心理アセスメント	必修	心理	3年	心理アセスメントの諸技法の考え方および実技を習得する。	○	◎	○	◎	○	△
LLH05	心理統計	必修	心理	2年	心理学研究に求められる統計の基本的な考え方、方法を習得する。	△		△	◎	○	○
LLH06	心理学史	必修	心理	1年	心の説明の変遷に関する知識の習得と現代の考え方との関連性の理解を図る。	◎		◎			○
LLH07	心理学演習Ⅰ	必修	心理	3年	演習テーマに基づく心理学の研究知見の多面的な理解を図る。	◎	◎	◎	◎	◎	◎
LLH08	心理学演習Ⅱ	必修	心理	3年	演習テーマに基づく心理学の研究知見の多面的な理解を図る。	◎	◎	◎	◎	◎	◎
LLH09	心理学演習Ⅲ	必修	心理	4年	各自が関心をもつ心理学テーマに基づき研究を遂行する。	◎	◎	◎	◎	◎	◎
LLH10	心理学演習Ⅳ	必修	心理	4年	各自の関心に基づく心理学研究の遂行による人間行動の体系的理解を図る。	◎	◎	◎	◎	◎	◎
LLJ01	認知心理学Ⅰ	必修	心理	2年	認知心理学に関する基本的知識を習得する。	○		◎	○	○	
LLJ02	行動心理学Ⅰ	必修	心理	2年	行動心理学に関する基本的知識を習得する。	○	○	◎	○	○	
LLJ03	教育心理学	必修	心理	2年	教育心理学に関する基本的知識を習得する。	○		◎	○	○	
LLJ04	比較心理学	必修	心理	2年	比較心理学に関する基本的知識を習得する。	○		◎	○	○	
LLJ05	臨床心理学Ⅰ	必修	心理	2年	臨床心理学に関する基本的知識を習得する。	○		◎	○	○	
LLJ06	健康心理学	必修	心理	2年	健康心理学に関する基本的知識を習得する。	○		◎	○	○	
LLK01	認知心理学Ⅱ	選択	心理	2年	認知心理学に関する発展的知識を習得する。	◎	○	◎	○	○	○
LLK02	行動心理学Ⅱ	選択	心理	2年	行動心理学に関する発展的知識を習得する。	◎	○	◎	○	○	○
LLK03	発達心理学	選択	心理	2年	発達心理学に関する基本的知識を習得する。	○	○	◎	○	○	
LLK04	生理心理学	選択	心理	2年	生理心理学に関する基本的知識を習得する。	○	○	◎	○	○	
LLK05	臨床心理学Ⅱ	選択	心理	2年	臨床心理学に関する発展的知識を習得する。	◎	○	◎	○	○	○
LLK06	産業心理学	選択	心理	2年	産業心理学に関する基本的知識を習得する。	○	○	◎	○	○	
LLK07	認知科学	選択	心理	3年	認知科学分野の諸概念と実験に基づく認知的事象の理解を図る。	◎	○	○	◎	○	○
LLK08	応用行動分析	選択	心理	3年	応用行動分析の諸概念の習得とそれに基づく行動的事象の理解を図る。	◎	○	○	◎	○	○
LLK09	人間関係論	選択	心理	3年	人間関係に関する心理学的理論の考え方および技術の習得。	◎		◎	○	○	○
LLK10	言語行動論	選択	心理	3年	行動分析の研究に基づく言語行動の基礎から臨床までの理解を図る。	◎		◎			○
LLK11	心理療法	選択	心理	3年	臨床心理学を基礎とする様々な心理療法の考え方、方法の理解を図る。	◎		◎	○	○	○
LLK12	社会行動分析	選択	心理	3年	行動心理学の諸原理を基礎とする人間の社会行動の理解を図る。	◎	○	◎	○	○	○
LLK13	心理技術実習	選択	心理	3年	心理学の実験および調査に必要な基本的技術を習得する。	◎	◎		◎	◎	○
LLK14	臨床心理学特論	選択	心理	3年	精神分析および分析心理学の考え方に関する系統的な理解を図る。	◎		○	○	◎	◎
LLK15	行動療法	選択	心理	3年	行動の原理が、実際の心理臨床において行動療法としてどのように用いられているか、またその成果について理解し、説明することができる。	◎		○	○	○	○

カリキュラム・マップ(文学部)

科目コード	科目名	科目区分	担当コース	配当年次	授業の到達目標	学習・教育目標との関連 ◎=強く関連、○=関連、△=やや関連)					
						①	②	③	④	⑤	⑥
LLL01	歴史・地理学概論	必修	歴史	2年	歴史・地理学各分野についての基本的な知識を習得する。	◎	△	○	△	○	
LLL02	歴史・地理学基礎講読Ⅰ	必修	歴史	2年	歴史・地理学に関する各種文献を読解できるようにする。	△	○	◎		△	△
LLL03	歴史・地理学基礎講読Ⅱ	必修	歴史	2年	歴史・地理学に関する各種文献・資料を読解し、分析・表現できるようにする。	△	○	◎	○	○	△
LLL04	歴史・地理学演習Ⅰ	必修	歴史	3年	歴史・地理学各分野における史資料・文献を読解して、各種調査・報告能力を身につける。	◎	◎	◎	○	○	○
LLL05	歴史・地理学演習Ⅱ	必修	歴史	3年	歴史・地理学各分野における史資料・文献を読解して、各種調査・報告能力を身につける。	◎	◎	◎	○	○	○
LLL06	歴史・地理学演習Ⅲ	必修	歴史	4年	歴史・地理学各分野で研究を進めるために必要な、史資料・文献の読解能力、調査・報告能力を習得する。	◎	◎	◎	○	◎	○
LLL07	歴史・地理学演習Ⅳ	必修	歴史	4年	歴史・地理学各分野で研究を進めるために必要な、史資料・文献の読解能力、調査・報告能力を習得する。	◎	◎	◎	○	◎	○
LLM01	日本史学講読	必修	歴史	2年	卒業論文の制作に必須となる古文書読解能力の獲得を目標とする。	△	○	◎		△	△
LLM02	日本史学基礎演習Ⅰ	必修	歴史	2年	日本史学における基本的な史料を読解して、関連事項の調査・報告ができるようにする。	◎	◎	◎	○	○	○
LLM03	日本史学基礎演習Ⅱ	必修	歴史	2年	日本史学における基本的な史料を読解して、関連事項の調査・報告ができるようにする。	◎	◎	◎	○	○	○
LLM04	日本史学概説A	必修	歴史	2年	日本史の各時代についての基本的な知識を習得する。	◎	△	○	○	◎	
LLM05	日本史学概説B	必修	歴史	2年	日本史の各時代についての基本的な知識を習得する。	◎	△	○	○	◎	
LLM06	日本史学特殊講義A	必修	歴史	3年	日本史学に関する個別具体的な研究内容を理解する。	◎	△	○	○	◎	
LLM07	日本史学特殊講義B	必修	歴史	3年	日本史学に関する個別具体的な研究内容を理解する。	◎	△	○	○	◎	
LLM08	日本史学特殊講義C	必修	歴史	3年	日本史学に関する個別具体的な研究内容を理解する。	◎	△	○	○	◎	
LLM09	日本史学特殊講義D	必修	歴史	3年	日本史学に関する個別具体的な研究内容を理解する。	◎	△	○	○	◎	
LLM10	日本社会史特殊講義A	必修	歴史	3年	日本社会の歴史についての最新の研究内容を理解する。	◎	△	○	○	◎	
LLM11	日本社会史特殊講義B	必修	歴史	3年	日本社会の歴史についての最新の研究内容を理解する。	◎	△	○	○	◎	
LLM12	世界史学講読Ⅰ	必修	歴史	3年	欧米語や漢文の史資料読解のスキルアップ。	△	○	◎		△	
LLM13	世界史学講読Ⅱ	必修	歴史	3年	欧米語や漢文の史資料読解の応用力を身につける。	△	○	◎		△	
LLM14	世界史学基礎演習Ⅰ	必修	歴史	2年	外国史に関する基礎的文献の理解力、読解力を養う。	○	◎	◎		○	
LLM15	世界史学基礎演習Ⅱ	必修	歴史	2年	外国史に関する専門的文献の理解力、読解力を養う。	○	◎	◎		○	
LLM16	世界史学特殊講義Ⅰ	必修	歴史	2年	外国史研究の方法を具体的な事例から学ぶ。	◎		○	△	◎	
LLM17	世界史学特殊講義Ⅱ	必修	歴史	3年	外国史(ヨーロッパ世界)の具体的事例を通して、歴史研究の方法についての理解を深める。	◎		○	△	◎	
LLM18	世界史学特殊講義Ⅲ	必修	歴史	3年	外国史(非ヨーロッパ世界)の具体的事例を通して、歴史研究の方法についての理解を深める。	◎		○	△	◎	
LLM19	地理学講読Ⅰ	必修	歴史	2年	テキストが記述する地理的諸事象を適格に理解し、それらの脈絡を把握させる。	○		◎	○		
LLM20	地理学講読Ⅱ	必修	歴史	2年	テキストが記述する地理的諸事象を適格に理解し、それらの脈絡を把握させる。	○		◎	○		
LLM21	地理学フィールドワーク実習Ⅰ	必修	歴史	2年	地理学の調査技術を実習を通して習得する。	○	◎		△	○	◎
LLM22	地理学フィールドワーク実習Ⅱ	必修	歴史	2年	地理学の調査の企画と遂行能力を実習を通して獲得する。	◎	◎	△	○	○	◎
LLM23	地理学特殊講義Ⅰ	必修	歴史	3年	日本の自然環境の生い立ちと地域特性を理解する。	◎		○	◎		
LLM24	地理学特殊講義Ⅱ	必修	歴史	3年	日本と世界の都市システムはさまざまな歴史や背景をもって成立してきたことを理解する。	◎		○	◎		
LLM25	地理学特殊講義Ⅲ	必修	歴史	3年	日本の自然環境の生い立ちと地域特性を理解する。	◎		○	◎		
LLM26	地理学特殊講義Ⅳ	必修	歴史	3年	空中写真が表示する景観から、その場所の特性を読み取る技術を身につける。	◎		○	◎		
LLM27	測量学Ⅰ	必修	歴史	2年	教授する測量技術を完璧に習得すべく努力する。		◎		○	○	○
LLM28	測量学Ⅱ	必修	歴史	2年	教授する測量技術を完璧に習得すべく努力する。		◎		○	○	○
LLM29	地図学Ⅰ	必修	歴史	2年	資料としての地図の性質を理解し、地図の表現力を習得する。	○		○	◎	◎	
LLM30	地図学Ⅱ	必修	歴史	2年	地図を深く理解し、多様な主題図表現力を身につける。			○		◎	○
LLM31	地球環境科学Ⅰ	必修	歴史	2年	大気循環が生み出す気候地域について、理解を深める。	◎		○	○		
LLM32	地球環境科学Ⅱ	必修	歴史	2年	大気循環が生み出す気候地域について、理解を深める。	◎		○	○		
LLN01	歴史学概説	選択	歴史	2年	歴史的な思考力が身につく、物事を論理的、大局的に捉えることができる。	◎		△	△	△	
LLN02	歴史学史	選択	歴史	2年	歴史的な思考力が身につく、物事を論理的、大局的に捉えることができる。	◎		△	△	△	
LLN03	外国考古学Ⅰ	選択	歴史	3年	東南アジアについての理解を高める。東南アジアの自立的動きと、世界システムに組み込まれた東南アジアを巡る動きについて理解する。	◎		△	△	○	
LLN04	外国考古学Ⅱ	選択	歴史	3年	習得できる力として、さまざまな考古学的データの分析の実例を通じて、科学的な思考力を養い、論理的に考える力を身につけることができる。	◎		△	△	○	
LLN05	歴史地理学	選択	歴史	2年	世界の歴史的諸事象が展開する理由を地理学の視点から解釈する技術を身につけさせる。	○		◎	○		
LLN06	地理学概説	選択	歴史	2年	地表面に展開する諸事象の地理学的解釈法を身につけさせる。	○		◎	◎		
LLN07	日本史史料学	選択	歴史	2年	古代・中世史料についての知識を深めるとともに、古代・中世史料の各様式が成立した、歴史的背景との関連性についても理解する。また、史料を実際に読解する能力も身につける。	◎	△	◎	○	○	
LLN08	日本考古学Ⅰ	選択	歴史	2年	モノの取り扱い方が身につく。	◎		△	△	○	
LLN09	日本考古学Ⅱ	選択	歴史	2年	歴史を踏まえた考え方が身につく。	◎		△	△	○	
LLN10	日本文化史Ⅰ	選択	歴史	2年	食文化や日本の文化に対する関心を高め、知識を深めるようにし、文化的・歴史的思考能力を身につけられるようにする。	◎		△	△	○	
LLN11	日本文化史Ⅱ	選択	歴史	2年	食文化や日本の文化に対する関心を高め、知識を深めるようにし、文化的・歴史的思考能力を身につけられるようにする。	◎		△	△	○	
LLN12	日本民俗学	選択	歴史	2年	1、日本の民俗に対する関心が深まる。 2、民俗が現在にどう生かされているかが学べる。 3、常に他地域の民俗と比較するという目が持てる。	◎		△	△	○	
LLN13	人間活動の地理学	選択	歴史	2年	人間の諸活動と自然および人文環境との因果関係を理解する力を養う。	◎		○	○		

カリキュラム・マップ(文学部)

科目コード	科目名	科目区分	担当コース	配当年次	授業の到達目標	学習・教育目標との関連 ◎=強く関連、○=関連、△=やや関連)					
						①	②	③	④	⑤	⑥
LLN14	ヨーロッパ文明史 I	選択	欧米	2年	ヨーロッパの古代・中世史に関する基本的な知識を習得できる・多角的な物の見方を養うことができる。	○		○			
LLN15	ヨーロッパ文明史 II	選択	欧米	2年	ヨーロッパの近現代史に関する基本的な知識を習得できる・多角的な物の見方を養うことができる。	○		○			
LLP01	日本古典文学基礎演習	必修	日文	2年	日本古典文学研究の基本的な方法を身につけることができる。	◎	◎	○	○	○	
LLP02	日本近代文学基礎演習	必修	日文	2年	演習の中で自らの解釈を説得力をもって他者へ伝達する技術を獲得し、併せて近代小説の基礎的な研究方法について学ぶ。	◎	○	◎	△	○	◎
LLP03	日本語学基礎演習	必修	日文	2年	平安時代の日本語の特質を『源氏物語』に焦点を当てつつ解明し、日本語研究の基礎的方法を身につける。	◎	◎	◎	◎	○	○
LLP04	日本語日本文学演習 I	必修	日文	3年	日本語・日本文学の研究課題を理解し、その研究方法を習得する。	◎	◎	◎	◎	◎	○
LLP05	日本語日本文学演習 II	必修	日文	3年	日本語・日本文学の研究課題を理解し、その研究方法を習得する。	◎	◎	◎	◎	◎	○
LLP06	日本語日本文学演習 III	必修	日文	4年	研究テーマについて、調査、分析、解釈、発表する力をつける。	◎	◎	◎	◎	◎	○
LLP07	日本語日本文学演習 IV	必修	日文	4年	研究テーマについて、調査、分析、解釈、発表する力をつける。	◎	◎	◎	◎	◎	○
LLP08	日本古典文学概論	必修	日文	2年	古典を学ぶ上で基本的な知識を習得できる。	◎		○	○		
LLP09	日本近代文学概論	必修	日文	2年	「私小説の問題」「物語論と世界像」などの論点を通して日本近代文学を概観し、視野を広げることを目指す。	◎	△	◎	△	○	△
LLP10	日本語学概論	必修	日文	2年	日本語学の各ジャンルについての学問的知識を習得する。	◎	○	◎	◎		
LLQ01	日本古典文学史	必修	日文	2年	日本古典文学史を具体的な作品の理解を通じて把握することができる。	◎	○	○	◎		
LLQ02	日本近代文学史	必修	日文	2年	近代文学を通時的に読み解くことによって、文学作品を線的な歴史のダイナミズムの中に置き直すことを目指す。	◎	◎	○	△	○	△
LLQ03	日本語史	必修	日文	2年	言語はなぜ、どのように変化するのか、変化の原理や方向性を把握する。	◎	○	◎	◎		
LLQ04	日本古典文学講読 I	必修	日文	2年	説話文学の読解を通じて古典の世界の価値観、想像力やくらしぶりを理解することができる。	◎	○	◎	○		
LLQ05	日本近代文学講読 I	必修	日文	2年	対立する見解に対して、客観的に検証作業を行い、自分の見解を立論する能力を身につける。	○	○	◎	△	○	△
LLQ06	日本語学講読 I	必修	日文	2年	変革期の日本語に触れ、変化の過程を把握することができる。	◎	◎	◎	○		○
LLQ07	日本古典文学講読 II	必修	日文	3年	研究史を踏まえ、先行論を批判的に考察し、自分の読み方を提示することができる。	◎	◎	◎	○		○
LLQ08	日本近代文学講読 II	必修	日文	3年	研究史を踏まえ、先行論を批判的に考察し、自分の読み方を提示することができる。	◎	◎	◎	○		○
LLQ09	日本語学講読 II	必修	日文	3年	『古事記』歌謡を読み、日本語や日本文化の歴史をさかのぼり、古代日本語の表現理解力を高める。	◎	◎	◎	○	◎	○
LLQ10	日本古典文学特殊講義	必修	日文	3年	各自が和歌に慣れ親しみ、興味を持って味読できることを大きな目標とする。						
LLQ11	日本近代文学特殊講義	必修	日文	3年	近代の名作を多様な文学理論によって新たに読み解くことで、各自がテキスト分析の具体的な技術を習得することを目指す。	◎	○	◎	○	◎	△
LLQ12	日本語学特殊講義	必修	日文	3年	日本語の語彙にはどのような特色が存するのかについて理解できる。	◎	◎	◎	○	○	
LLQ13	日本語文法論	必修	日文	3年	古典を読む上に必要な文法の知識を身につけ、読解力と日本語の分析力を高める。	◎	◎	◎	◎	○	△
LLR01	日本古典文学資料論	選択	日文	2年	日本古典資料とその取扱いに関する基礎的知識を習得するとともに、古典研究の土台としての重要性を認識する。	◎		◎			
LLR02	古典文学古文字読解	選択	日文	2年	江戸時代の版本、能筆の歌書、物語が読める。	◎		◎			
LLR03	漢字文化論	選択	日文	2年	漢字を軸にしながら、日本の文字社会が成立し、日本語に関する学術が成立発展したことを不足無く理解して、日本における漢字文化の概要を正確に身につける。	◎	○	◎			
LLR04	日本近代文学 I	選択	日文	2年	丸山薫と中原中也の芸術的世界の内実を理解すると共に、とりあつかう二人の詩人の詩を、各々の感性と言葉によって、「豊かに」「楽しく」、また他者に「伝わる」ように、鑑賞できるようにすることを目標とする。	◎		◎			
LLR05	日本近代文学 II	選択	日文	3年	基本的な知識と教養を身に付けるのに加え、同時代の文化問題とも密接に絡めることで、現代文化に対する学生個々の問題意識と課題への認識を促す。	◎		◎		○	△

カリキュラム・マップ(文学部)

科目コード	科目名	科目区分	担当コース	配当年次	授業の到達目標	学習・教育目標との関連 ◎=強く関連、○=関連、△=やや関連					
						①	②	③	④	⑤	⑥
LLR06	日本語教育研究Ⅰ	選択	日 文	2 年	現代日本語の文法について理解し、学習者がどのように習得しているのか把握する	◎	◎	◎	◎	○	◎
LLR07	日本語教育研究Ⅱ	選択	日 文	2 年	現代日本語の文法について理解し、学習者がどのように習得しているのか把握する	◎	◎	◎	◎	○	◎
LLR08	児童文学Ⅰ	選択	日 文	2 年	児童文学の基礎知識を習得し、実際に出版されている多くの本の中から、どのような子どもの本(絵本)を選んだらよいか、作品を分析し、評価する力を養う。		○	◎	○	○	
LLR09	児童文学Ⅱ	選択	日 文	2 年	日本の児童文学史上、著名な作家の作品を分析し、現代の児童文学の課題について、自分なりに考える。		○	◎	○	○	
LLS01	欧米言語芸術概論	必修	欧 米	2 年	文芸学の基礎的な概念を理解し、作品の解釈に役立てられること。	○		○			
LLS02	言語学概論	必修	欧 米	2 年	英語、ドイツ語、フランス語の言語学的な知識を身につけることができる。	○		○	○		
LLS03	欧米言語文化演習Ⅰ	必修	欧 米	3 年	英語、ドイツ語、フランス語圏の言語や文化を研究し、より深い理解と考察によって1つの研究結果としてまとめる。	○	○	○	○	○	○
LLS04	欧米言語文化演習Ⅱ	必修	欧 米	3 年	英語、ドイツ語、フランス語圏の言語や文化を研究し、より深い理解と考察によって2つの研究結果としてまとめる。	○	○	○	○	○	○
LLS05	欧米言語文化演習Ⅲ	必修	欧 米	4 年	英語、ドイツ語、フランス語圏の言語や文化を研究し、より深い理解と考察によって3つの研究結果としてまとめる。	○	○	○	○	○	○
LLS06	欧米言語文化演習Ⅳ	必修	欧 米	4 年	英語、ドイツ語、フランス語圏の言語や文化を研究し、より深い理解と考察によって4つの研究結果としてまとめる。	○	○	○	○	○	○
LLT01	Essential Grammar	必修	欧 米	2 年	日本人特有の誤解を中心に英文法を再確認する。	○	◎		○		○
LLT02	Basic Composition	必修	欧 米	2 年	英作文の基礎力を要請する。	○			○	◎	○
LLT03	Academic Writing I	必修	欧 米	3 年	英作文の応用力を要請する。		○	△	○	◎	
LLT04	Academic Writing II	必修	欧 米	3 年	英作文の更なる応用力を要請する。		○	△	○	◎	
LLT05	イギリス文学史	必修	欧 米	2 年	時代、社会、文化の中にあるイギリス文化史の流れを把握し、時代の代表となる作家、作品を時代背景と共に理解することを目標とする。	○		◎	△		
LLT06	アメリカ文学史	必修	欧 米	2 年	アメリカ文学史の流れを創成期から現代に至るまで時代背景と併せて理解する。	○		◎	△		
LLT07	イギリス文学基礎演習	必修	欧 米	2 年	イギリス文学について基礎的な知識を身につけ、作品の鑑賞力を高め、イギリス文学の造詣を深める。	○	△	◎			
LLT08	アメリカ文学基礎演習	必修	欧 米	2 年	アメリカの文化的背景を理解し、そこから生まれた作品を鑑賞する。	○	△	◎			
LLT09	English Communication 概論	必修	欧 米	2 年	英語によるコミュニケーションの基礎を学ぶ。	◎	○	△	△		○
LLT10	Contemporary International English 概論	必修	欧 米	2 年	世界の中のさまざまな英語の現状を学ぶ。	◎	○	△	△		○
LLT11	English Communication 基礎演習	必修	欧 米	2 年	異文化間コミュニケーションの心構えを学ぶ。	◎	○	○	△		○
LLT12	Cont. International English 基礎演習	必修	欧 米	2 年	世界各地のさまざまな英語の現状を知り調査にもとづき比較検討する。	○	◎	○	△		○
LLT13	Oral Comprehension (英会話初級)	必修	欧 米	1 年	英会話の基礎的な技能を身につける。	○	△		△	○	◎
LLT14	Oral Strategies (英会話初級)	必修	欧 米	1 年	英会話の基礎的な技能を身につける。	○	△		△	○	◎
LLT15	Current Issues I (英会話中級)	必修	欧 米	2 年	英会話の基礎から応用への橋渡しをする。	△	△	○		○	◎
LLT16	Current Issues II (英会話中級)	必修	欧 米	2 年	英会話の基礎から応用への橋渡しをする。	△	△	○		○	◎
LLT17	Current Issues III (英会話上級)	必修	欧 米	3 年	実践的な英会話の技能を高める。	△	○	△		◎	○
LLT18	Current Issues IV (英会話上級)	必修	欧 米	3 年	実践的な英会話の技能を高める。	△	○	△		◎	○

カリキュラム・マップ(文学部)

科目コード	科目名	科目区分	担当 コース	配当年次	授業の到達目標	学習・教育目標との関連 ◎=強く関連、○=関連、△=やや関連)					
						①	②	③	④	⑤	⑥
LLT19	ドイツ語基礎演習Ⅰ	必修	欧米	2年	「ドイツ語をもちいた簡単な自己表現と会話ができる。」						◎
LLT20	ドイツ語基礎演習Ⅱ	必修	欧米	2年	「ドイツ語をもちいた簡単な自己表現と会話ができる。」						◎
LLT21	ドイツ語圏文化講読Ⅰ	必修	欧米	2年	文法に沿ったジャーマンポップスのテキストの講読ならびに基礎的なドイツ語作文により、文法の力を確かなものにする。	○		○			
LLT22	ドイツ語圏文化講読Ⅱ	必修	欧米	2年	文法に沿ったジャーマンポップスのテキストの講読ならびに基礎的なドイツ語作文により、文法の力を確かなものにする。	○		○			
LLT23	ドイツ語圏文化講読Ⅲ	必修	欧米	3年	ドイツ語の読解力をつける。	○		○			
LLT24	ドイツ語圏文化講読Ⅳ	必修	欧米	3年	ドイツ語の読解力をつける。	○		○			
LLT25	ドイツ文学鑑賞Ⅰ	必修	欧米	2年	代表的な作品を読み込み、ドイツ文学の鑑賞方法を学ぶ。			◎		○	
LLT26	ドイツ文学鑑賞Ⅱ	必修	欧米	2年	代表的な作品を読み込み、ドイツ文学の鑑賞方法を学ぶ。			◎		○	
LLT27	ドイツ語圏文化概論Ⅰ	必修	欧米	3年	近現代を中心にドイツ語圏文化の重要な諸側面を概観できること。その視野に立つて自ら問題を設定し、調べ、文章化すること。	○		○			
LLT28	ドイツ語学概論Ⅰ	必修	欧米	3年	高度なドイツ語テキストを読むために必要になる中級、上級ドイツ語文法の習得。	○		○			
LLT29	フランス語基礎演習A	必修	欧米	2年	文法の基礎を押さえ、基本語彙を習得する。	△	△	△	△	○	◎
LLT30	フランス語基礎演習B	必修	欧米	2年	文法の基礎を押さえ、基本語彙を習得する。	△	△	△	△	○	◎
LLT31	フランス語基礎演習C	必修	欧米	2年	文法の基礎を押さえ、基本語彙を習得する。	△	△	△	△	○	◎
LLT32	フランス語基礎演習D	必修	欧米	2年	文法の基礎を押さえ、基本語彙を習得する。	△	△	△	△	○	◎
LLT33	フランス語圏文化講読Ⅰ	必修	欧米	3年	フランス語で書かれた作品を読み解くことができるようにする。	○	○	◎	△	○	○
LLT34	フランス語圏文化講読Ⅱ	必修	欧米	3年	フランス語で書かれた作品を読み解き、その中から問題を発見、さらに調査分析して、その結果を文章の形にまとめることができるようにする。	◎	○	◎	△	◎	○
LLT35	フランス語圏文学史	必修	欧米	2年	フランス文学の歴史を概観し、その代表的な作品を原文で読み解くことができるようにする。	○	○	◎	△	○	○
LLT36	フランス語学概論Ⅱ	必修	欧米	2年	中級レベルの文法(動詞の活用、時制、法、態など)を理解し、適切に使い分けて作文や会話に利用することができるようにする。	○	○	○	○	○	○
LLT37	北米・中米フランス語圏の文化	必修	欧米	3年	フランス語圏の諸地域の歴史的・社会的・文化的な問題について、総合的な理解を深め、自ら調査することができるようにする。また、フランス語圏の映画作品や文学作品のテーマや内容を適切に分析する能力を身につける。	◎	○	○	△	◎	○
LLT38	アフリカフランス語圏の文化	必修	欧米	3年	フランス語圏の諸地域の歴史的・社会的・文化的な問題について、総合的な理解を深め、自ら調査することができるようにする。また、フランス語圏の映画作品や文学作品のテーマや内容を適切に分析する能力を身につける。	◎	○	○	△	◎	○
LLU01	Preparation for TOEIC・TOEFL	選択	欧米	2年	TOEIC/TOEFLの更なる得点力アップを目指し、各種技能を磨く。	○	△	◎	○		○
LLU02	Listening Strategies	選択	欧米	2年	聴解力を高めるための技能を実践的に学ぶ。	◎			△	△	○
LLU03	English Focus I	選択	欧米	3年	英語を用いて問題解決やプレゼンテーションの方法を学び、実践する。	△	○		○	○	◎
LLU04	English Focus II	選択	欧米	3年	英語を用いて問題解決やプレゼンテーションの方法を学び、実践する。	△	○		○	○	◎
LLU05	New Media English	選択	欧米	3年	近年の新たなメディアについて学び、またそれを用いた英語学習を推進する。	○	◎	△	△		○
LLU06	Principles of FLT	選択	欧米	3年	主に海外における英語教授法や英語教育の動向を学び、実践する。	◎	△	△		○	○

カリキュラム・マップ(文学部)

科目コード	科目名	科目区分	担当コース	配当年次	授業の到達目標	学習・教育目標との関連 ◎=強く関連、○=関連、△=やや関連					
						①	②	③	④	⑤	⑥
LLU07	ドイツ語圏近・現代史	選	択	欧米	2年			○			
LLU08	ドイツ文学史	選	択	欧米	2年			○			
LLU09	ヨーロッパ文学史	選	択	欧米	2年			○			
LLU10	ドイツ事情	選	択	欧米	1年	○		○			
LLU11	外国語としてのドイツ語A	選	択	欧米	3年		○				○
LLU12	外国語としてのドイツ語B	選	択	欧米	3年		○				○
LLU13	外国語としてのドイツ語C	選	択	欧米	3年		○				○
LLU14	外国語としてのドイツ語D	選	択	欧米	3年		○				○
LLU15	フランス事情	選	択	欧米	2年	○	◎	○	○	○	○
LLU16	フランス美術史	選	択	欧米	2年	◎	○	○	△	◎	○
LLU17	フランス語圏文学特殊研究	選	択	欧米	2年	○	○	◎	△	○	○
LLU18	フランス語学特殊講義	選	択	欧米	2年	○	○	○	○	○	○
LLU19	外国語としてのフランス語A	選	択	欧米	3年	△	△	△	△	◎	○
LLU20	外国語としてのフランス語B	選	択	欧米	3年	△	△	△	△	◎	○
LLU21	外国語としてのフランス語C	選	択	欧米	3年	△	△	△	△	◎	○
LLU22	外国語としてのフランス語D	選	択	欧米	3年	△	△	△	△	◎	○
LLU23	英米事情	選	択	欧米	1年	◎	○	△		△	○